

令和2年度資金調達計画の見直し

当機構は、令和2年度の資金調達計画について、下記のとおり見直しました。

記

- 地方公共団体金融機構債券（政府保証のない公募債）の年間資金調達予定額
12,400億円 → 15,400億円

地方金融機構債（政府保証のない公募債） 年間発行予定額：15,400億円

債券の種類	現在までの実績額	今後の予定額
国内債	4,860億円	5,555億円程度
10年債	1,200億円	1,700億円程度
20年債	700億円	650億円程度
5年債	100億円	100億円程度
30年債	200億円	200億円程度
スポット債	—	—
FLIP債	2,660億円	2,905億円程度
国外債	1,905億円	1,765億円程度
小計	6,765億円	7,320億円程度
フレックス枠	—	1,315億円程度
合計	6,765億円	8,635億円程度

(注)

- 債券の種類、発行額については、貸付状況、市場環境等により弾力的に対応します。
- フレックス枠については、各種国内債・国外債の増額、スポット債の発行、長期借入の増額等に活用します。
- 現在までの実績額は、条件決定日ベースで計上しております。また、各種債券の額にフレックス枠充当分が含まれています。
- 発行に関する情報につきましては、発行の都度ホームページ等を通じてお知らせする予定です。
- 地方公務員共済組合連合会等の引き受けによる債券、長期借入、政府保証債に変更はございません。